



2019年3月20日 第140号  
**北九州労健連ニュース**

TEL 093-871-0449 FAX 093-872-3695

〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シェルム天神 1F

北九州労働者  
の健康問題連  
絡会議 発行

<http://rokenren.com/>

## 北九州市がアスベスト アナライザーを購入

—長年の私たちの運動が実る—

北九州市は3月末にアスベストアナライザー(建材片に当て7秒でアスベストを計測・720万円)を購入し、解体工事場で「アスベストなし」の現場と、市民から通報があった解体工事現場にアナライザーを携帯して立ち入り調査を行います。

アスベストアナライザー



これは、私たち北九州労健連が、解体工事での新たなアスベスト被害の防止のため、アスベストアナライザーを自治体の解体現場調査時に携帯させる運動に取り組み、その要求が実現しました。

北九州労健連は、2017年9月に開催したじん肺アスベスト全国キャラバン北九州集会で、大阪アスベスト対策センターの伊藤泰司さんを講師に招き、「住民運動と建築労働者が結びつきたたかいこそ」と題した学習講演を行い、その中でアナライザーの存在を知り、自治体の解体現場調査時に携帯させる運動を進めようと議論を始めました。

2018年2月に市議会の全会派へ請願を取り組み、共産、希望の2会派の賛同を得て、公明からも市の環境局へ問い合わせを行っていただきました。この時から市は関心を持ち、9月にはメーカーを呼び機材説明を受けています。

そして、田村貴昭衆議院議員がアナライザーの活用を国会で取り上げ、労働局にアナライザーが配置される中、10月に導入を含めたアスベスト対策を求める要望書を市へ提出し、その回答懇談会を11月に行いました。その中で、市の回答から導入に前向きな印象を受けました。

さらに、この問題に関心を寄せた山内涼成市議会議員と2019年2月に勉強会を行い、3月議会の中で質問をしていただき、市からアナライザーを導入し活用するとの答弁を引き出すことができました。

この活動を進めてきた北九州労健連の仲間より、「大きな前進だ。我々の地道な活動が北九州市を動かした」「会派要請も意味があった」「行政を動かすのは我々だ」と喜びの声が寄せられています。

また、この行動のきっかけとなった伊藤泰司さんからも、運動の前進への労いと、今後の活動への助言が寄せられました。



福岡労働局にて、白石綿(クリソタイル)の検出確認試験

2028年には解体工事がピークを迎える中、新たなアスベスト被害の防止のため、自治体によるアスベスト含有の建築物の把握と管理による解体工事対策の徹底が求められています。今後も対策を求める

運動を進め、広げていくことが必要です。

【福建労北九州支部・平安将隆記】

# 「感情労働」とは・・・

「感情労働」とは、アメリカの社会学者 A. R. ホッギンズが提唱した働き方の概念で、感情の抑制や鈍麻、緊張、忍耐などを不可欠の職務要素とする労働のことです。体力を使って対価を得る「肉体労働」やアイデアを提供する「頭脳労働」に対して、感情労働に従事する者はつねに自分自身の感情をコントロールし、相手に合わせた言葉や態度で対応することが求められています。



## 「感情労働」が必要な職種とは・・・

「感情労働」が必要な職種の代表的なものは「看護師」「介護士」「客室乗務員」と言われています。同じように顧客の言うことに耐えなければならぬ「接客業」「オペレーター」「教職」など、近年はあらゆる職種で感情労働を強いられるケースが増加傾向にあります。

感情労働による疲労やこころの傷は回復しにくく、メンタルヘルスの不調を引き起こすことも少なくないため、社会問題化しています。

////////////////////////////////////

## 韓国・ソウル市労働権益センターでは...

ソウル労働権益センターは地域の脆弱階層労働者（非正規労働者や青年層）の権益保護のため、ソウル市条例により 2015 年に設立されました。労働相談や労働教育、政策研究、各種キャンペーン、地域連帯活動などを行っています。ソウル市はサービス業の割合が 71% と高く、他の地域と比べても高い地域になっています。

韓国も「お客様は王様だ」と言われていてサービス業で働く労働者は自分の感情を押し殺して働かなければいけない状況にあり、心身の負担が大きく、退職や自死に追い込まれるケースも少なくなかったようです。2016 年ソウル市感情労働従事者権利保護等に関する条例が制定され、2017 年から感情労働保護センター立ち上げにむけてチームを結成し労働者保護の取り組みが進められています。

////////////////////////////////////

## 2018 年、産業安全保健法が改定され、事業主に対し義務が課せられた

「顧客の暴言等による健康被害予防措置」の項目が新設され、「事業主は（中略）業務の一時中断、または転換等、必要な措置をとらなければならない」「労働者は措置を要求でき、事業主は解雇・不利益処遇をしてはならない」または罰則として「1 千万ウォン以下の過料」が事業主に科せられる。

最も重要なのは、「ワンストライクアウト」、一度でも暴言・悪質行為を受ければ、受けた労働者はその客への対応を断れるようになったようです。

////////////////////////////////////

## 感情労働に対する認識改善

感情労働に対する認識改善では、広報物の発行や地域の労働団体と共同での街頭キャンペーン、ロゴを作成し様々な発行物、文具などに活用し、感情労働保護の周知を図っています。

来る5月18日(土)～19日(日)ムーブに於いて、九州セミナー第5回課題別セミナー「感情労働と健康権」が開催されます。韓国のソウル感情労働センターからの報告もあります。関心のある方は是非参加しましょう！そして、一緒に考えませんか。

# 「貧困問題と労働問題」を考える

- 第30回人間らしく働くための九州セミナーin長崎 第1回事前学習会 -

3月2日(土)長崎タクシー会館に於いて標記学習会が開催され15団体、67名が参加しました。「貧困問題と労働問題」をテーマに長崎短期大学の志賀信夫先生が講演をされました。



中里実行委員長  
あいさつ

最初に先生ご自身がなぜ貧困問題をテーマに研究をしようと思ったのか?ということから紹介され、労働現場でも尊厳が守られていない実態など目の当たりにして来たことから「志高く研究をしよう」と思ったこと、そして社会貢献をしようとも思ったこと。しかし現実は大変で、大学講師も非正規であること。研究費用も削減されている状況など…。そして「地方都市」にこだわる意味、地方が良くも悪くも人と人の関係が近いこと。共同体(=助け合い、きずながある)であり、監視の共同体である。

「絆」とは、本来犬や馬などの家畜を通りがかりの立ち木につないでおくための網。しがらみ、呪縛、束縛などの意味がある。

地方の貧困—離婚率が高く、母子家庭が多いでは、現在の「貧困」をどのように捉えるか?先生は学生への講義の中で必ず、貧困の反対の言葉は何か?を問い、その理由も尋ねていると。私たちにも同様に尋ねられた。学生の8割は「貧困」の反対は「裕福」と答え、お金があれば貧困ではないと答えていると…

身近な人の「幸せ」の形を知っているかといえば、知らない。では、幸せの形とは、一人一

人の幸福を追求する権利が保障されていること(=自由な権利)。最低限度の自由の平等。権利を主張することは大事である。

「貧困」とは、何が不足している状態か?何が見たされれば貧困状態から脱出することができるのか?このために「貧困」の対義語を考えてみるのが大切であることが強調された。そして、貧困が何かということ言葉で伝えることが重要であると。

貧困とは幸福の追求のための自由が欠如している状態であると…

そして、貧困対策が目指すものとして ①何の平等を目指しているのか? ②何のための平等を目指しているのか? ③その平等はどのような社会を目指しているのか?

①~③がどのようなものかによって、形成される政策や政策対象の範囲が全く異なってくると。

貧困問題の最大の原因は劣悪な労働(ワーキングプア)である。労働は個人で行うのではなく、社会のなかで行うものであり、労働問題は社会問題である。つまり、貧困問題は社会問題であり、社会での対応が必要であると。

また、地域の取り組みのなかで貧困の再発見があると。公的役割のなかで「保障すべきなのに保障されていない権利・自由」を発見することが重要であると。



志賀先生の講演

歴史を振り返れば、1人のヒーローが構築した生活保障のシステムなど存在しないと、1人の100歩ではなく、100人の1歩が重要であることが話された。

【九州社医研 青木珠代】



**戦争の記録を残し、記憶を  
伝えていくために、私たち  
が、今やるべきことは？  
-北九州市の「平和資料館」建設  
をめぐって-**

戦前、現在の北九州市は西日本最大の兵器工場があり、小倉陸軍造兵廠や八幡製鉄所、多くの兵士を海外に送り出した門司港などを抱える「軍都」でした。1995年、戦争遺構の取り壊し計画に対し市民有志がその保存や公的な平和資料館の建設を訴えて運動をおこし、その成果として若松駅の近くに「北九州平和資料館」という名前で、戦争の遺品や資料を保存・展示しながら、各種団体からの依頼を受けて平和学習も開催する部屋を運営するという形を取りながら、現在まで運動が継続されてきました。

北九州市が施設の在り方やコンセプト等、資料館の基本的な方向について、「懇話会」や議会からも意見を聞いて基本計画を策定し、市のホームページで公開しました。これまで平和資料館建設を求めてきた市民有志は、戦争の実相を伝えるものにしてほしいという思いから、北九州平和資料館で、昨年11月24日、市から「平和資料館」建設計画の説明と市民との意見交換会を開催しました。

【北九州市の説明】「建設場所は、勝山公園中央公園図書館北側駐車場内、延べ床面積約900㎡、地上1階、平成31年度工事開始し、次年度竣工。資料館では、二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう、市民一人ひとりが戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考える機会を提供するため、必要な機能と場を備え、様々な活動を展開したい」と説明されました。

【参加者の意見】「被害者としての市民」や「よくあの被害から立ち直ったね」だけでは片手落ち。戦争そのもの(加害者としての側面も含めて)平和を考える資料館にしてほしい。日本がなぜ戦争へと突き進んでいったのか70年のスパ

ンでとらえてほしいなど多数の意見が出され、市も話し合いは継続するという事になりました。年が明けた1月18日に、市民有志で、申し入れ文書を手渡し、市民の要望についての意見交換を市の担当課と行ないました。

申し入れ時の意見(一部紹介)

- 「どうして空襲が起きたのか」が分かるような被害だけでなく加害の内容も展示してほしい。学校の先生達が「平和を担う子ども達に学ばせたい」と思える資料館を作ってほしい。
- 戦争に関する資料館はいろいろあるが、戦争を賛美したり町おこしに利用されているように感じられるものもある。平和資料館が、何を伝え、何を考えさせるのか。あるべき姿をしっかりと持って、建設・運営してほしい。

(仮称) 平和資料館



【市への申し入れ事項(要約版)】

- イ、「①市民の戦争体験や当時の暮らしを物語る資料などの保存・継承していく施設②戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて考える機会を提供する施設」として、表現(展示)する。
- ロ、各区毎の戦争時の事実を展示する。
- ハ、アジア国際都市として、外国人の目に応える展示内容であること。
- ニ、「非核宣言都市」宣言文を掲示すること。
- ホ、学習室を設置すること。
- ヘ、特別展示の企画及びその展示場所を確保する。
- ト、学芸員のボランティアの組織化を行うこと。
- チ、竣工後の「平和資料館」の企画・運営は、北九州市が主体性を持って行うこと。

関心のある方は、是非、一度おいでください。

「北九州平和資料館」TEL/FAX(093)-771-5878

開館 12時～16時30分(日曜・休日以外)

若松区本町2丁目3-19 NCわかまつ3F